

『学校だより』令和3年度9月号  
Escuela Japonesa de Panamá  
パナマ日本人学校



在籍数：小学部7名、中学部2名 合計9名 TEL: 223-7782 269-4726  
E-mail:japonesa@panama.lolipop.jp http://panama.lolipop.jp/

### 学校教育目標とテーマ

豊かで調和のとれた人間性を持ち 国際感覚を身につけた 心身ともに健康な児童生徒の育成  
テーマ「歴史をたどり 仲間とともに 輝く未来へ」(創立50周年に向けて)

パナマ日本人学校 校長 小坂 誠二

いよいよ2学期始業式を迎えました。パナマの感染者はやや下降傾向になっていますが、南米では、ラムダ株という新たな変異種が流行し、危険になっているとの話も聞こえてきています。

一方日本では非常事態宣言が多くの県に出され、これから新学期を迎えるので登校の仕方をどうするかで混乱が見られるようです。

さて、この夏休み中はいかがだったでしょうか。何といても感染状況の厳しい中、57年ぶりに開催されたオリンピックは、思いのほか日本人選手の活躍が話題をさらったのではないのでしょうか。特に、十代の選手の活躍は目を見張るばかりでした。それも十代前半の中学生が、世界の大舞台でのびのびと競技する姿、競技を終えた後の国境を越えて健闘をたたえ合う姿には感動しました。まさに、世界中の

人々、特に将来を担う子どもたちに夢や希望を与えてくれた一コマだったと思います。

8月24日(日本)からはパラリンピックが始まりました。コンセプトは「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」です。だれでも人として尊重し合い、国境や人種を越えて繋がっていければと願うばかりです。

そのパラリンピックの種目の中に「ボッチャ」というのがあります。かつて日本で勤務していた時代、学区内に特別支援学校があり、交流の中で3年生の子どもたちに体験させたことがありました。また高学年には、福祉体験の中で、高齢者体験や車いす体験、点字体験なども行いました。このパナマでは中々難しいですが、そういう機会があれば、是非子どもたちに体験させたいと考えています。



## 1年半の時を経て、やっと学校再開となりました。

お待たせしました。夏休みの30日間に教育省からの返答を待っていましたが、やっと8月25日(水)から対面授業を再開することができました。

半数以上の児童生徒が、初めてこの校舎での学校生活を過ごすこととなります。安全・衛生対策を行いながら、これまでオンラインでできなかった行事等を含めて計画を見直ししていきたいと考えています。

右の写真は、登校初日の下校の様子です。各教室で帰りの会を終えると、全員が屋内体育館に集合し担当の先生の話聞いて終わります。そして「さようなら」のあいさつ後スクールバスに乗って帰ることになります。

こういった当たり前の学校生活が一つ一つ行える喜びを味わっています。校内の様子につきましては、今後もHPで紹介していきますのでご覧ください。



\* 年間予定で9月25日の「学習発表会」は、延期しますのでご承知願います。